

# 新宿区スポーツ環境整備方針 施策体系（案）について

「新宿区総合計画（2018～2027）」の基本政策Ⅲ、個別施策Ⅲ-14「生涯にわたり学習・スポーツ活動などを楽しむ環境の充実」に「めざすまちの姿・状態（生涯を通じて学習やスポーツ活動に取り組めるまち）」が示されている。本方針は、総合計画と整合を図りつつ、方針に掲げる取組の推進により、この「めざすまちの姿・状態」を実現を目指していることから、現行の「基本理念」「スローガン」を踏襲する。

基本理念

生涯スポーツ社会の実現と地域の総合力を結集した「スポーツコミュニティ」の推進

スローガン

スポーツの力で「新宿のまち」を元気に！

基本的な視点

持続性・継続性

自主性・自立性

連携・協働

※ 網掛け部分は施策の視点

## 課題

### 1 ご自身の状況と、運動やスポーツとの関わりについて

●スポーツの実施状況に満足できていない区民が半数以上となっており、多様なニーズに答えることができる環境が求められている

### 2 運動やスポーツの実施について

●スポーツ実施率は年代別性別でばらつきがみられるため、区民の状況に応じたスポーツの実施機会の充実が求められている

### 3 今後、運動やスポーツに取り組むにあたって

●スポーツを実施するためには「気軽に運動できる場」とともに「家族や友人の誘い」が求められている。多様な区民が地域コミュニティの中で自然と気軽に行動変容するきっかけづくりが求められている

### 4 みるスポーツ・ささえるスポーツについて

●自宅でのテレビ・動画配信などで観戦した区民は多いが現地で観戦をした区民は少ない。現地での観戦を通してスポーツの楽しさや感動を分かち合える「スポーツ文化」を醸成する取組が求められている。  
●スポーツをささえる取組を行っている区民が少ないことから、関心喚起・担い手の育成支援、活躍の場の充実が求められている

### 5 運動やスポーツの指導について

●求める指導者像として「運動やスポーツの楽しみ方や興味・関心がわくような指導ができる人」が最も多くあげられていることから、今後の地域での子どものスポーツを指導する人の能力・資質向上の取組が一層求められている

### 6 パラスポーツとの関わりについて

●パラスポーツへの関心は、年代があがるにつれて低下していることから、年代にあった関心喚起や理解促進の取組が求められている。

### 7 区の取り組み等について

●区に対して「施設・設備の整備・充実」を望む意見が多くあげられている

### スポーツ団体

●「連携・交流が必要ない」「行いたい、できていない」団体に対して連携・交流の醸成と支援を行うことで、「する」「ささえる」両面からスポーツを推進することが求められている

## 課題への対応

多様な利用者ニーズに配慮した施設運営や設備・機能の充実、施設間の連携強化を推進する

▼  
誰もがスポーツに親しめる環境づくり

子ども・成人（働き盛り・子育て世代・女性）高齢者、それぞれのライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会を創出する

▼  
誰もがスポーツを楽しむ機会の充実

年齢・性別・国籍・障害の有無等に関わらず、区民の誰もが気軽にスポーツに親しむことができる場や機会を創出する

▼  
スポーツによる共生社会の実現

スポーツを「ささえる」団体の育成とボランティアや指導者等への関心喚起と担い手づくりを推進する

▼  
地域に根差した「ささえる」スポーツの推進

区内でスポーツ活動を行う多様な主体の交流・連携・協働を促進し、地域コミュニティの醸成・活性化に資する取組を推進する

▼  
スポーツを通じたにぎわいの創出

## 方針改定（案）

### 基本施策1

●環境・ハード

多様な利用者に配慮した施設機能の充実

※現行方針  
基本施策1  
を【継続】

誰もがスポーツを楽しめるよう、多様なニーズを踏まえた施設の整備・機能の充実を図ることで、誰もがスポーツに親しめる環境を整備する。

施策の方向性

※調整中  
次頁に記載

### 基本施策2

●する ●みる ●つくる/はぐくむ

誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会の創出

※現行方針  
基本施策2  
を【一部変更】

※現行方針  
基本施策3  
を【統合】

区民一人ひとりのライフステージに応じた取組に加え、デジタル技術の活用を含めた新しいスポーツ、誰もがひとしく気軽にできる運動やスポーツ・レクリエーションを実施することで、日々の生活に満足する区民を増やす。

施策の方向性

※調整中  
次頁に記載

### 基本施策3

●誰もがアクセスできる

パラスポーツの振興と理解促進

※新規

障害者がスポーツを楽しめる場や機会を提供するとともに、東京2020パラリンピックのレガシーであるパラスポーツの振興と理解促進を図ることで、様々な立場・状況の人とともにスポーツを楽しめる環境の構築と、スポーツによる共生社会の実現を目指す。

施策の方向性

※調整中  
次頁に記載

### 基本施策4

●ささえる

スポーツ活動をささえる団体の育成と担い手づくり

※現行方針  
基本施策4  
を【一部変更】

※現行方針  
基本施策3  
を【統合】

東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーである、「ボランティアマインド」を継続するとともに、区民のスポーツ活動をささえる団体等を育成することで、地域に根差した「ささえる」スポーツを推進する。

施策の方向性

※調整中  
次頁に記載

### 基本施策5

●あつまり、ともに、つながる

スポーツによるにぎわい・交流の創出

※新規

地域の運動やスポーツ活動を通じて、多様な人々や団体の交流・連携・協働を促進し、地域コミュニティの醸成・活性化に資する取組を行い、スポーツを通してまちのにぎわい・交流を創出する。

施策の方向性

※調整中  
次頁に記載